

HYC 向け
東京 2020 オリンピック・セーリング競技の江の島開催に関する説明・意見交換会
報 告

* この説明会は、葉山港係留・利用代表者宛に案内があった当日の午前中の説明会を、HYCの月例レースのために午後に、HYC向けに開催されたものです。

開催年月日 : 平成 28 年 8 月 28 日 13:30~
場 所 : 葉山港管理事務所 3F 会議室

出席者

神奈川県

スポーツ局: 平田副局長、伊藤オリンピック・パラリンピック担当部長、
オリンピック・パラリンピック課 三枝セーリング競技担当課長
セーリング競技グループ 松井グループリーダー、平本主幹

県土整備局 河川下水道部 砂防海岸課 なぎさグループ:

田村グループリーダー、吉岡副技幹、南條技師

横須賀土木事務所 工務部河川砂防課 : 田宮課長、澤野副技幹、吉田技師

指定管理者 株式会社リビエラリゾート:

大庭 所長(兼) J S A F オリンピック・パラリンピック準備委員会競技担当
npoHYC *表記は 氏名(所属艇名、係留バース)

理事会: 理事長 日原(Japoneira, k-5), 森谷 (SERA, L-15)

理事会泊地委員会: 委員長 真野 (KOKOPELLI, L-16), 副委員長 犬飼 (牛若丸, L-5)

会 員: 田中(WAVY HOT, L-17), 遠藤 (BOSS, L-7), 井上 (七福神, K-1)

1. 神奈川県から説明

現在の想定であるという前提のもと、配布資料による説明があった。

- ・ 2020 年の本大会に先駆けて実施する、2018 年のプレプレ大会、2019 年のプレ大会の期間中、江の島にある全てのヨット等は、周辺の港等に一時移動してもらいたい。
- ・ 正式決定ではないが、その間、葉山港には江の島のディンギー約 100 隻を移動させたい。
- ・ 神奈川県としては、2020 年のオリンピックを契機として、県の施設である湘南港と葉山港をセーリングの拠点として位置づけ、それに基づいた整備をしていきたい。
- ・ そのための江の島からのディンギー置き場については、仮設構造物でなく、恒久的な施設としたい。なお、ディンギー置き場を 2 層構造にする事で、100 隻艇程度の収容力となる。

とのことであった。

また、レース海面エリアの案が提示された。

2. 意見交換会

H Y C 側からの意見

ディンギー置き場の増設について

将来的な方針として、湘南港と葉山港をセーリングの拠点として位置づけ、整備していく事は大変歓迎である。一方、ディンギー置き場の増設については、オリンピック後に、利用者がいないのでは、税金の無駄遣いとなる。現状は、ディンギーヨットの利用者は、学生中心で葉山にはそれぞれに施設をもって活動をしている。かつては、企業がディンギーのヨットクラブを持っておりその利用艇が多くあったが、現在では殆どの企業でクラブが解散しており、社会人のディンギー利用は多くない。恒久施設にするかどうかは将来的な需要予測をした上で検討すべき。

いづれにしても鋼性の施設は、20年は持たないが、需要予測から、例えば大会期間中、半数を仮設又は、リースという方法もある。

2層構造にする場合、ディンギーに限定すると、利用が制限される。モーターボートでも使用可能とするという事も考えられる。

ディンギー拠点として収容能力を上げる事について

- * ディンギー置き場の増設は、利用者の増加ということとなる。船の置き場と同じように、駐車場、艀装ヤード、泊地—の拡充をセットで計画していないと、使いにくい港となり、利用者から敬遠されることになりかねない。特に駐車場は、ヨットの大会が開かれたときや、周辺で何かイベントがあった場合は現在もすぐに満車となる。さらに、ディンギーによる泊地の利用や、出入港の輻輳については、現在でもかなり厳しい状況である。駐車場の拡充については、多層化等も併せて検討の余地があると考えられる。一方で、景観の問題の懸念もある。
- * ディンギー利用が増えることが想定される計画とする場合は、ヨット関連施設だけでなく、上下水道、道路等、葉山港周辺の関連インフラの整備も同時に検討し、あわせて整備をしていただきたい。
- * 特に葉山港管理事務所の上水道は、イベントなどで人が集まったときには、トイレの給水が間に合わない。(当日、OPの大会が開催されていたが、既にトイレの一部を使用禁止にしていたようである。)管理事務所への給水管を太くすることは、水道本管が細いため、周辺一帯家庭への水圧が低下するために、出来ないとの事である。水道管の増設は、本管からの新たなルートでの増設が必要となることを踏まえ、ディンギー置き場増設の恒久的な計画は、インフラ事業の予算もセットで準備すべきである。

既存施設の更新と改良について

ディングー置き場の増設は、オリンピックという事で受け入れるとして、既存施設が老朽化して危険な状態になっている箇所もある。特に新港の浮棧橋については、かなり傷んでいる箇所や、近年の高潮による潮位上昇で、杭の高さを上げないと抜けてしまうなどの恐れさえある。既存施設の更新や改良についても同時に事業が進められるような予算の処置をお願いしたい。

レース海面について

Q. レース競技中は、レースエリア内は、全面航行禁止となるか？ その場合の監視体制はどうか？

A. (大庭 所長(兼) J S A F オリンピック・パラリンピック準備委員会競技担当)

オリンピックの場合、レースは午後となる。設定されているレース海面の内のどのエリアを使うかは、当日の風や種目により決定され、全てのエリアが全面航行禁止となるわけではない。また、レース海面の周囲は、海自、海保、チャーター漁船による監視船により3周で取り囲む体制を考えている。従って、誤ってレースコースに入り込むことは、よほどのことがない限り、起こらないと思われる。

以上